

丹波市立 山南中学校 ～ふるさとの木と檜皮葺きに包まれた学び舎～

丹波市山南地域の統合中学校の計画であり、地域の木材や伝統工芸を多く取り入れた学校づくりを行っています。

内装仕上げ材として丹波市産のスギ、ヒノキを1,890㎡用いることで、ふるさとの木に包まれた温もりある学習環境を創出しています。内装木質化率は93%を達成し、丹波市産木材の利用推進を定めた「丹の木づかい推進プラン」の先駆事例として、今後の公共施設整備に活かされます。また校区内に恐竜の一種である丹波竜の発掘場所があることから、地層をモチーフに、美しい木目を活かした木材デザインに取り組みました。

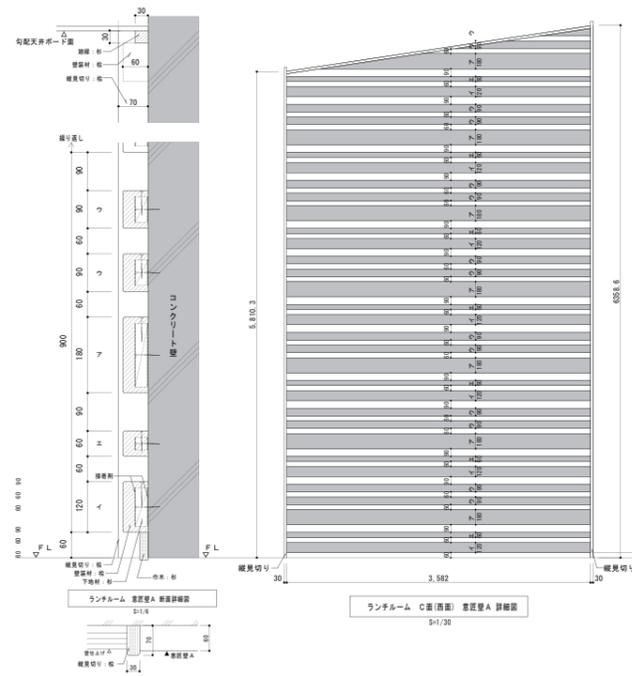
丹波市山南地域は全国で唯一の檜皮葺き産業の集積地という特徴があります。全校生徒が毎日利用するランチルームの内装材壁として活用し、地域が誇る伝統工芸を身近に感じることができるデザインとしました。施工時にワークショップを開催し、地域、学校、職人の方々の学校づくりへの参画を図りました。生徒の手により製作され、未来へのメッセージをしたためた檜皮がランチルームに施工されています。

この地域らしさにあふれた学び舎で、地域社会の担い手となる子どもたちが、学び、育ち、地域の持続可能な発展につながっていくことを期待します。

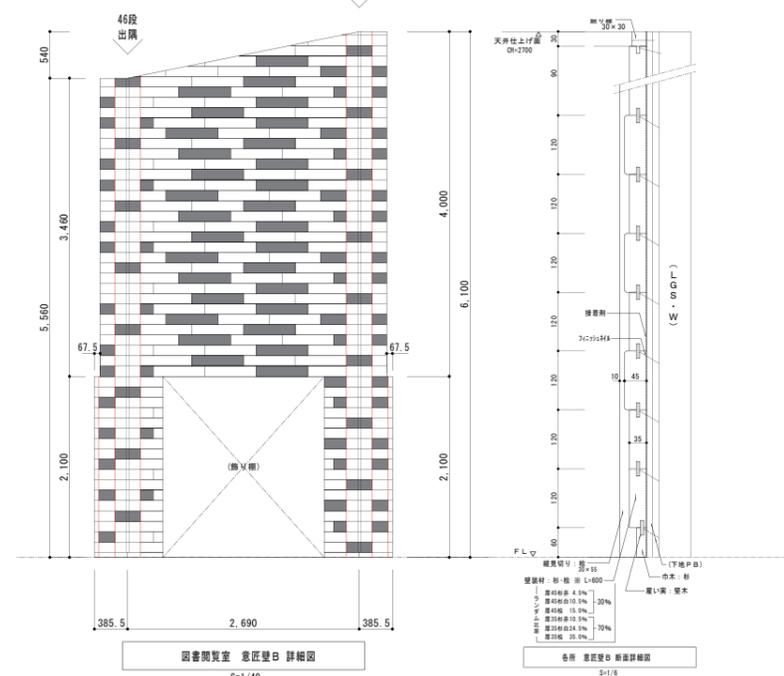


丹波市産木材と地域の伝統産業“檜皮葺き”を取り入れたランチルーム

木目を活かした木材デザインへの取り組み -ヒノキとコンクリートの対比により地層を模した壁面-



木目を活かした木材デザインへの取り組み -ヒノキ、スギ赤身、スギ白太の3種の木材により地層を模した壁面-



檜皮職人指導の下、生徒の手によって檜皮を制作



檜皮葺きの技法を実演・学習



檜皮の裏に未来へのメッセージを記入



ランチルームの内装材として施工



伝統工芸を身近に感じる校舎づくり



計画地は中国山地の山々に囲まれた田園風景の中にあることから、山並みと呼応するよう屋根をかけ、周辺の田畑や土壁の家屋と調和するアースカラーを基調とし、**丹波市の風景に溶け込むデザイン**としました。

屋根を活用したダブルルーフやウォームルーフ等の先進的な省エネルギー手法の導入や、環境共生の取り組みを見える化するエコモニター・サイン等により、**豊かな自然環境への理解を深めるエコスクール**としての学校づくりを行っています

【建築概要】

構造階数：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上3階建て
 建築面積：4,523.46㎡
 延床面積：7,722.60㎡
 用途：中学校
 木材利用量：仕上面積6,910㎡、体積167㎡
 (うち丹波市産スギ・ヒノキ1,890㎡、46㎡)



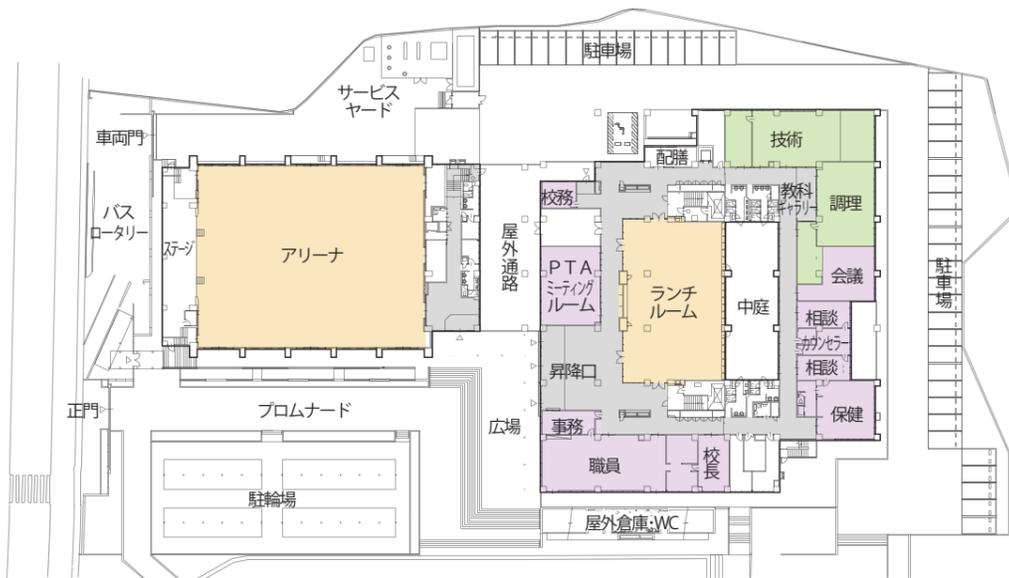
屋根やアースカラーの採用により丹波市の景観と調和した外観



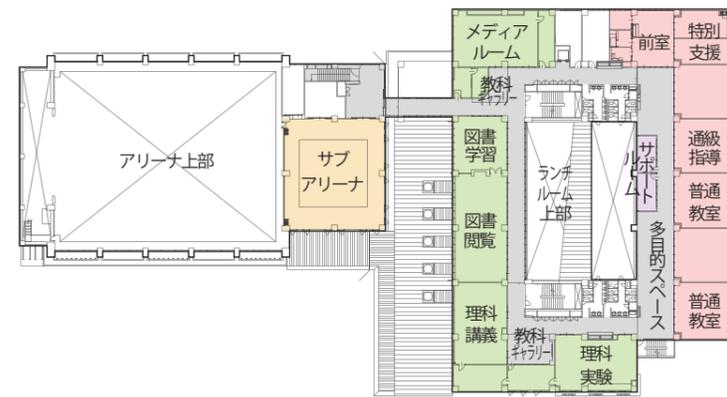
地層を模した外観



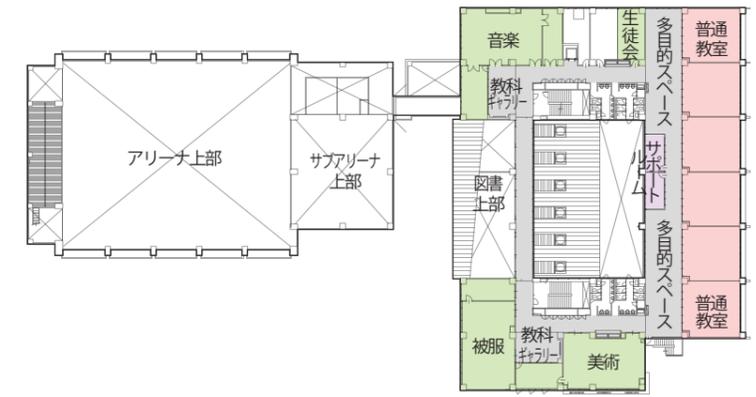
昇降口外観



1階平面図



2階平面図



3階平面図



丹波竜が裝飾された廊下ガラス窓



意匠壁やルーバーを施した展示空間(教科ギャラリー)



木材に包まれた温もりある普通教室・多目的スペース



鉄骨トラスに市産木材を取り付けたアリーナ